

第6学年1組 学級活動（保健）指導案

指導者 T1 学級担任
T2 養護教諭

1 題材名 ゆれるわたしたちの心

2 題材設定の理由

小学校高学年の時期の子どもたちは、二次性徴も始まり、自分と友達を比較して悩んだり、何となく親や教師に反発したり、自分の心をコントロールできずに悩んだりしている。

ほとんどの児童は、その心の変化にとまどいながらも、だれに相談することもなく、ひとりで悩みを抱えている。

そこで、たくさんの友達が同じ悩みを抱えていること、親や教師も同じ過程を通って大人になったこと、その悩みは、よりよく生きようとする心のあらわれであり、成長の一過程であることを知らせ、不安から解放させたい。また、自分の心と向き合い、よりよい対処の方法を考えさせたい。

3 児童の実態（平成〇〇年〇月〇日調べ 6年生 男□名 女□名 合計□□名）

- | |
|---|
| 1 あなたは、最近不安に思うことや、心配なことがありますか。
ある ○名 時々ある ○名 ない ○名 |
| 2 あなたは、最近イライラすることがありますか。
ある ○名 時々ある ○名 ない ○名 |
| 3 あなたは、不安や心配、イライラを抱えたときに、どうしていますか。
(回答例) ゲーム・スポーツ・読書をする 音楽を聴く・漫画を読む 外で遊ぶ 楽しく遊ぶ
何かに集中する 好きなことをする 詩を書く 寝る 誰かに相談する 自分で解決する |

- 不安や悩み、イライラが「ない」と答えた児童が、半数以上であった。
- 不安や悩みが「ある」の中身は、勉強のことや、体のこと、友達のことがあげられていた。
- 不安等に対する対処の仕方も前向きなことが多く、少數ではあるが「誰かに相談する」もあった。

4 指導のねらい

- 思春期における心の特徴を理解させる。
- 自分の心を見つめさせ、思春期を歩み出した自分に気づかせるとともに、よりよく生きようとする態度を育てる。

5 学習計画及び評価規準

月 日	過程	活動の場	活 動 内 容	評 価 規 準
○月○日	事前	休み時間	アンケートを実施する。	不安や悩みの調査について、自己の課題を見つけようとしている。 (関心・意欲・態度)
○月○日	本時	学級活動	思春期における心の特徴を理解し、自分の心を見つめさせ、思春期を歩み出した自分に気づき、よりよく生きようとする態度を育てる。	不安や悩みは思春期における心の特徴であることを理解している。 (知識・理解) 自分の心を見つめ、不安や悩みを解決していく方法を考え、よりよく生きていこうと判断している。 (思考・判断)
随時	事後	教室その他	二者面談を行い、相談しやすい雰囲気を作るとともに、実際の悩みの解決方法を話し合う機会を持つ。	不安や悩みの解決方法について話し合い、よりよく生きていこうと実践することができる。 (技能・表現)

6 本時の指導

(1) 目標

- 不安や悩みが思春期の心の特徴であることを理解する。
- 自分の心を見つめ、不安や悩みを解決していく方法を考え、よりよく生きていこうとする態度を育てる。

(2) 準備・資料

- ① アンケート結果表
- ② 心がやれている場面図
- ③ 大脳説明図
- ④ ワークシート（事例）
- ⑤ ワークシート（決意カード）

(3) 展開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		資料
	T 1	T 2	
1 アンケート結果を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果を提示する。 ・ 事前アンケートを大切に取り上げることで、課題をより身近なものとさせる。 ・ 事前アンケートの結果を見て、感想を述べ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悩んでいるのは自分だけではないことを理解させる。 ・ 主な場面図を用意し、捉えやすくする。 	アンケート結果表
2 本時の課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">自分の心を見つめ、不安や悩みの解決の仕方を考えよう</div>			心がやれてい る場面図
3 心の仕組みについて理解する。 (1) 大脳の働きについて知る。 ・ たくましく生きる ・ よりよく生きる (2) 不安や悩みは大脳の働きであることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期には体の変化とともに、心の変化も起こり、大人へのひとつのステップであることを知らせる。 ・ 「よりよく生きるために」の悩みであることを印象づけ、前向きな対処法を考えることにつなげる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(評) 不安や悩みが、よりよく生きるために大切な過程であることがわかったか。（発表・観察）</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大脳の説明用の絵を提示する。 「たくましく生きていくための部分」（大脳辺縁系） 「今までよりももっとよい生き方をしようとする部分」（大脳新皮質） 	大脳説明図
4 不安や悩みがあるときはどうすればいいか考える。 (1) 二つの事例について考える。 ・ 友達に嫌われて落ち込む子 ・ 家族に指図され反抗している子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二つの事例について、グループで解決方法を話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いが活発でないグループに助言を行う。 	ワークシート（事例）
5 心を元気にする方法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果をもとにグループでの話し合いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談は落ちこみすぎを防ぎ、別の見方をする上で有効であることを知らせる。 	ワークシート（決意カード）
6 悩みへの対処法を書く。			
7 本時の学習を振り返りまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(評) 不安や悩みを抱えたときに積極的に対処する方法を考えることができたか。（カード・発表）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ不安なのか、心の中を見つめる。 ・ 悩みすぎないよう相談する。 ・ 心が元気になる工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心は変化するものであるが、振り回されないように客観的に問題を見るようアドバイスする。 	

7 事後指導への配慮事項

意図的に二者面談を行い、相談しやすい雰囲気の中で、悩みの解決方法を話し合う機会を持ち、よりよく生きていこうとする態度を育てるとともに、実践することができる。